

新産業創出へ初合同会議

産官学が連携協議

川崎市川崎区の殿町3丁目地区を核に進めている成長産業の研究開発拠点の集積で、産官学による国際競争拠点形成戦略会議（座長＝小宮山宏・三菱総研理事長）と、総合特区について協議する「ライフイノベーション地域協議会」の合同会議が9日、市内のホテルで開かれた。ともに初の合同。

（佐藤 英仁）

寺島実郎・日本総研理事長、山田長満・川崎商工会議所会頭をはじめ、味の素、JFEエンジニアリング、ヨドバシカメラなどの企業、東京大学、慶応大学の

研究者、横浜市の林文字市長、古尾谷光男副知事ら41人が出席した。川崎市の阿部孝夫市長が「臨海部の持続的発展とわが国の経済成長に向けて、

産業界、大学、行政の連携が極めて重要」とあいさつ。同地区の発信力を高めるため、名称を「キング スカイフロント」に決めたことを明らかにした。同市の担当者が、臨海部で展開していく構想を説明。アジアを含めた高齢化を視野に入れ、再生医療の実現、がん医療開発・生活習慣病予防など医療・健康分野での技術革新を進めて新産業を創出していく方針

を示した。

出席者からは「中国や韓国では国を挙げて新産業創出に取り組んでいる。特区に選ばれるというレベルではなく、世界をリードするんだというメッセージが大勢」「ここでき受けられない世界最先端の医療があり、『病気になるないための町』『健康になる町』を指すべき」といった提案が出された。また「知」や人のネットワーク化、トッ



「戦略会議」では、新産業創出に向けて産官学が意見
を交わした
＝川崎市川崎区の川崎日航ホテル

プレレベルの海外研究者が短期間滞在する上での生活環境の整備、米ボストンやスウェーデン・ストックホルム

などの学術都市と羽田空港を結ぶ直行便の必要性なども指摘された。